

3. コントゥム省 子どもの栄養改善事業

ベトナム中部都市ダナン市の南西に位置し、ラオス及びカンボジアと国境を分かつ高原地帯にあるコントゥム省は、2010年ベトナム政府から、全国63省・市の中でも「子どもの栄養不良率が最も高い地域」として挙げられました。

2011年、FIDRが首都ハノイにある国立栄養研究所とともに現地の子どもと母親を対象にした調査を行った結果、特に2歳未満の子どもの4人に1人が低体重であり、2人に1人は低身長であることがわかりました。

本事業では、2012年4月より、母親の育児に関する知識の向上を図るとともに、保健サービス及び衛生環境を整える事で、子どもたちの栄養状態を改善できるよう取り組んでいます。



事業概要

事業目的:

2歳未満の子ども達の栄養改善と、地域の保健サービスの向上を目指します。

事業期間:

2012年度～2015年度

事業地:

コントゥム省ダックグレイ郡及びダクトー郡

対象:

- ・コントゥム省ダックグレイ郡及びダクトー郡に住む2歳未満の子ども約1,500人(内、栄養不良児850人)
- ・対象地域に住む2歳未満の子どもを持つ母親、妊産婦、出産可能年齢の女性

2012年度までに終了した主な事業

- » タイян郡地域総合開発(2008年～2012年)
- » ベトナム少数民族手工芸支援(2008年～2012年)
(クアンナム省ナムザン郡)
- » リエンチエウ区生計安定支援(2007年～2011年)
(ダナン市)
- » 台風ケツツアーナ緊急援助(2009年)
- » ナムザン郡地域総合開発(2001年～2008年)
- » クアンナム省及びダナン市における学校建設
(1998年～2008年)

FIDR 各国事務所



FIDR ベトナム事務所

54 Hai Phong Street, Da Nang City, Viet Nam

Tel: +84(511)3 540 404 - Fax: +84(511)3 540 405

Email: fidrvn@fidr.or.jp

Website: www.fidr.or.jp/english



公益財団法人国際開発救援財団
ベトナム事務所



“心を合わせ、未来をひらく”



FIDR とは

FIDRは、1990年に発足した民間の国際協力団体です。

正式名称は公益財団法人国際開発救援財団、英語表記の **Foundation for International Development/Relief** の頭文字をとってFIDR(ファイダー)と呼んでいます。

1992年からは外務省より「特定公益増進法人」の認定を受け、2010年11月に「公益財団法人」に移行しました。多くの寄付者や支援者の方のご理解、ご協力により、国際協力を通じた社会貢献活動の推進に努めています。

現在は、子どもの未来をはぐくむ「チャイルド・ケア」と「日本企業と日本人による国際協力の推進」をミッションに掲げ、カンボジア、ベトナム、ネパール、日本で活動しています。

FIDRは1991年に、当時ベトナムで活動していた国際NGOを通してベトナムへの支援活動を開始、1998年に中部のダナン市に事務所を設立しました。現在は、クアンナム省とコントゥム省で地域開発、教育、保健事業を実施しています。

1. ベトナム少数民族地域活性化のための観光開発事業

FIDRはクアンナム省ナムザン郡において、2001年から2007年まで「地域総合開発事業」、その中から芽生えた「少数民族手工芸支援事業」を2008年から4年間にわたり実施し、この地域に暮らす少数民族カトゥー族の生活状況の改善に努めてきました。こうした取り組みは、食糧増産や収入増加にとどまらず、民族の誇りや自信が高まるといった変化をもたらしました。さらに、伝統文化や自然資源を活用した、地域主導の「観光開発事業」を模索する契機にもなりました。本事業では、地域の価値、文化、伝統、経済利益といった地域の利益を守り、促進するために、村や社など地域住民の手によって運営される「地域主導型観光開発(コミュニティ・ベースド・ツーリズム)」の確立を目指します。



事業概要

事業目的:

少数民族カトゥー族の伝統文化や地域の自然資源を活用した観光開発を推進することによる人々の収入向上、及び地域の資源が保護されその価値が高まる事を目指します。

事業期間:

2012年度～2015年度

事業地:

クアンナム省ナムザン郡

対象:

ナムザン郡の住民、約23,000人(約5,670世帯)

2. クアンナム省山岳地域における食糧生産支援事業

ベトナム中部のクアンナム省タイヤン郡は、90%以上の住民が山岳少数民族のカトゥー族です。この地域でFIDRは2008年度から2011年度まで「地域総合開発事業」を実施しました。

その活動のひとつに米の収量増加を目的とするSRI農法(※)の普及がありました。米の生産性が低いという課題の解消に対して顕著な成果をあげたこの活動は、ベトナム政府より高い評価を受けました。

FIDRはこの経験を活かし、本事業において対象地域を拡大し、米の増産に取り組み、クアンナム省山岳地域における食糧不足の解消、ひいては人々の生活状況の向上を目指しています。

※System of Rice Intensificationの略。発芽後1～2週間の乳苗を1本程度ずつ広い間隔で植え、水位管理、除草を確実に行う作業で稻の生育力を高める農法。従来の栽培法に比べ、種粉や水の使用を大幅に減らしつつ、1.2～1.5倍の収量が得られる



事業概要

事業目的:

対象地域において、SRI農法を推進し、地域住民の食糧生産の安定化を目指します。

事業期間:

2012年度～2014年度

事業地:

クアンナム省タイヤン郡、ナムザン郡、ドンヤン郡及びフックソン郡

対象:

4郡の住民、約85,750人(約21,500世帯)